

乳児湿疹とステロイド使用後の顔・上半身の浸出性症状を経て保育園へ復帰した幼児アトピーの経過 (3歳 女児)

症例 ID：001-03-MA4 | 記録日：2016 年 10 月 31 日

1. 診断・治療前経過

生後2か月頃に顔全体へ発疹が広がりましたが、外用薬を使わずにいったん落ち着きました。1歳頃から汗疹様の発疹が出て、ロコイドとプロペトの混合薬を使用しました。

2歳6〜7か月頃、小さな湿疹が顔を含む上半身へ急速に広がり、水疱と浸出液を伴うカポジ水痘様発疹症と診断されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	1歳頃からロコイドとプロペトの混合外用薬を使用しました。
製品名	ロコイド、プロペト。
強度	ロコイドを含みます。
使用期間	1歳頃から2歳7か月頃まで断続的に使用しました。
中止時期	水疱性症状が出た2歳7か月頃に中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後2か月	乳児湿疹	顔全体に発疹が広がりましたが、外用薬を使わず皮膚が再生しました。
1歳頃	外用開始	汗疹様の発疹にロコイド混合薬を使用しました。
2歳6〜7か月	急性悪化	顔を含む上半身に水疱と浸出液が広がり、カポジ水痘様発疹症と診断されました。
治療開始時	松本医院受診	薬草風呂、外用処置、アシクロビル、煎じ薬を開始しました。
治療開始〜1か月	浸出期	顔と上半身から大量の浸出液が出て、夜間の掻破と出血が続きました。
約1か月	変化	浸出液が減り、落屑の後に新しい皮膚がみられ、食欲と体重増加が戻りました。
約2か月	生活復帰	背中と首はほぼ正常な皮膚となり、保育園へ復帰しました。
約5〜6か月	経過後	ヘルペス性発疹は消失し、手首、肘、膝裏の軽い乾燥を残す程度となりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始直後から約1か月まで、顔と上半身から大量の浸出液が出て、1〜2時間ごとに痒みで目を覚まし、出血するまで掻いた時期です。

5. 困りごと

- ・顔と上半身の浸出液、夜間の掻破、出血への長時間の処置が必要でした。
- ・約2か月保育園を休み、母親も介護休暇を取得しました。
- ・浸出期には食欲が低下し、体重増加が止まりました。

6. 経過のまとめ

治療開始約2か月後には背中と首の皮膚がほぼ正常となり、保育園へ復帰しました。

約6か月後には顔の皮膚が整い、手首、肘、膝裏に軽い乾燥を残す程度となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。